

3. 肝炎感染判明後から現在までの経験やお気持ちについて

問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明をどのように理解されましたか

		N 数	あてはまらない	あてはまる	どちらともいえない	無回答	全体
件数	たいしたことはない	—	474	78	160	168	880
	治療方法がない病気である	—	254	285	199	142	880
	死の危険のある病気である	—	117	469	159	135	880
	うつる病気（感染症）である	—	199	402	143	136	880
	一生付き合わなければならない病気である	—	76	591	114	99	880
	使用した血液製剤のためにこの病気に感染した	—	191	467	107	115	880
割合 (%)	たいしたことはない	880	53.9	8.9	18.2	19.1	100.0
	治療方法がない病気である	880	28.9	32.4	22.6	16.1	100.0
	死の危険のある病気である	880	13.3	53.3	18.1	15.3	100.0
	うつる病気（感染症）である	880	22.6	45.7	16.3	15.5	100.0
	一生付き合わなければならない病気である	880	8.6	67.2	13.0	11.3	100.0
	使用した血液製剤のためにこの病気に感染した	880	21.7	53.1	12.2	13.1	100.0
割合 (%) (除無回答)	たいしたことはない	712	66.6	11.0	22.5	—	100.0
	治療方法がない病気である	738	34.4	38.6	27.0	—	100.0
	死の危険のある病気である	745	15.7	63.0	21.3	—	100.0
	うつる病気（感染症）である	744	26.7	54.0	19.2	—	100.0
	一生付き合わなければならない病気である	781	9.7	75.7	14.6	—	100.0
	使用した血液製剤のためにこの病気に感染した	765	25.0	61.0	14.0	—	100.0

問3-2 医師からの病気の告知・説明についての納得度を教えてください

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=861
全く納得できなかった	112	12.7	13.0
あまり納得できなかった	242	27.5	28.1
まあ納得できた	334	38.0	38.8
十分納得できた	93	10.6	10.8
わからない	80	9.1	9.3
無回答	19	2.2	—
全体	880	100.0	100.0

問3-3 肝炎治療や肝炎との付き合い方に関する情報をどこから得ていますか（複数回答）

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=867
主治医	721	81.9	83.2
書籍	388	44.1	44.8
インターネット	231	26.3	26.6
テレビ	329	37.4	37.9
新聞	337	38.3	38.9
肝炎感染者の知人や患者会	202	23.0	23.3
ソーシャルワーカーなど福祉関係者	4	0.5	0.5
親戚・知人	73	8.3	8.4
ボランティア	2	0.2	0.2
その他	31	3.5	3.6
無回答	13	1.5	—
全体	2,331	—	—

【問3-3で無回答の人を除く】

問3-3 肝炎治療や肝炎とのつきあい方に関する情報に○を付けた数

	件数	割合 (%) N=867
1個	242	27.9
2個	193	22.3
3個	208	24.0
4個	105	12.1
5個	75	8.7
6個	39	4.5
7個	3	0.3
8個	2	0.2
全体	242	27.9
平均	N=867	2.7個

問3-4 日常生活上の不安について教えてください(複数回答)

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=854
進学・就労	81	9.2	9.5
外出	127	14.4	14.9
仕事(家事)	378	43.0	44.3
治療費	456	51.8	53.4
結婚(交際)	50	5.7	5.9
他者への感染	272	30.9	31.9
家計	228	25.9	26.7
家族への負担	452	51.4	52.9
近所付き合い	75	8.5	8.8
出産	32	3.6	3.7
性生活	89	10.1	10.4
その他	71	8.1	8.3
不安はない	70	8.0	8.2
わからない	46	5.2	5.4
無回答	26	3.0	—
全体	2,453	—	—

【問3-3で「不安はない」「わからない」と回答した人、および無回答の人を除く】

問3-4 日常生活上の不安で○を付けた数

	件数	割合 (%) N=738
1個	140	19.0
2個	177	24.0
3個	151	20.5
4個	123	16.7
5個	65	8.8
6個	44	6.0
7個	25	3.4
8個	9	1.2
9個	4	0.5
全体	738	100.0
平均	N=738	3.1個

問3-5 病気や家庭のことに、相談できる人や支えてくれた人はいましたか(複数回答)

	件数	割合(%) N=880	割合(%) (除無回答)N=869
配偶者	560	63.6	64.4
親	369	41.9	42.5
子供	353	40.1	40.6
兄弟姉妹	251	28.5	28.9
親戚	75	8.5	8.6
職場の人	54	6.1	6.2
友人・知人	181	20.6	20.8
同病の患者やその家族	84	9.5	9.7
医療関係者	257	29.2	29.6
弁護士	163	18.5	18.8
原告団	156	17.7	18.0
その他	13	1.5	1.5
誰もいなかった	35	4.0	4.0
わからない	8	0.9	0.9
無回答	11	1.3	—
全体	2,570	—	—

【問3-5で「誰もいなかった」「わからない」と回答した人、および無回答の人を除く】

問3-5 病気や家庭のことに、相談できる人で○を付けた数

	件数	割合(%) N=826
1個	174	21.1
2個	201	24.3
3個	180	21.8
4個	124	15.0
5個	57	6.9
6個	46	5.6
7個	26	3.1
8個	8	1.0
9個	5	0.6
10個	3	0.4
11個	2	0.2
全体	826	100.0
平均	N=826	3.0個

問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことをどのように知りましたか

	件数	割合(%) N=880	割合(%) (除無回答)N=871
テレビや新聞などの薬害C型肝炎訴訟の報道で「自分もこれが原因ではないか」と察した	621	70.6	71.3
薬害肝炎訴訟にかかわっている人(原告・弁護士等)に連絡を取った	177	20.1	20.3
肝炎の主治医から告げられた	150	17.0	17.2
肝炎の原因となった医療行為を行った医師より告げられた	207	23.5	23.8
その他	116	13.2	13.3
わからない	1	0.1	0.1
無回答	9	1.0	—
全体	1,281	—	—

問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、どのようにお感じになりましたか

		N数	そう 感じた	そうは 感じなかった	どちらともい えない	無回答	全体
件数	たいした問題ではないと思った	—	37	627	107	109	880
	当時としては止血目的に用いられた ので仕方ないと思った	—	372	238	199	71	880
	わたしは病気にされてしまった	—	528	101	171	80	880
	血液製剤を説明なしに使われた	—	526	84	184	86	880
	なぜ危険な血液製剤が使われたのか	—	574	74	153	79	880
	医療でとんでもない被害を受けてし まった	—	560	78	169	73	880
	自分の健康は血液製剤によって一生 うばわれてしまった	—	463	102	242	73	880
割合 (%)	たいした問題ではないと思った	880	4.2	71.3	12.2	12.4	100.0
	当時としては止血目的に用いられた ので仕方ないと思った	880	42.3	27.0	22.6	8.1	100.0
	わたしは病気にされてしまった	880	60.0	11.5	19.4	9.1	100.0
	血液製剤を説明なしに使われた	880	59.8	9.5	20.9	9.8	100.0
	なぜ危険な血液製剤が使われたのか	880	65.2	8.4	17.4	9.0	100.0
	医療でとんでもない被害を受けてし まった	880	63.6	8.9	19.2	8.3	100.0
	自分の健康は血液製剤によって一生 うばわれてしまった	880	52.6	11.6	27.5	8.3	100.0
割合 (%) (除無回答)	たいした問題ではないと思った	771	4.8	81.3	13.9	—	100.0
	当時としては止血目的に用いられた ので仕方ないと思った	809	46.0	29.4	24.6	—	100.0
	わたしは病気にされてしまった	800	66.0	12.6	21.4	—	100.0
	血液製剤を説明なしに使われた	794	66.2	10.6	23.2	—	100.0
	なぜ危険な血液製剤が使われたのか	801	71.7	9.2	19.1	—	100.0
	医療でとんでもない被害を受けてし まった	807	69.4	9.7	20.9	—	100.0
	自分の健康は血液製剤によって一生 うばわれてしまった	807	57.4	12.6	30.0	—	100.0

問3-8 病気を理由に収入を伴う仕事を辞めた、あるいは転職した経験がありますか

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=846
ある	291	33.1	34.4
ない	488	55.5	57.7
仕事に就いたことがない	52	5.9	6.1
わからない	15	1.7	1.8
無回答	34	3.9	—
全 体	880	100.0	100.0

【問3-8で「ある」と回答した人のみ】

問3-8-1 仕事を辞めた、あるいは転職した理由は何ですか(複数回答)

	件数	割合 (%) N=291	割合 (%) (除無回答)N=290
治療上の問題	146	50.2	50.3
体力が続かない	213	73.2	73.4
体を気遣って	140	48.1	48.3
職場で肝炎であることが知られて居辛くなった	26	8.9	9.0
周囲の人に感染させてしまうかもしれないという恐れから	31	10.7	10.7
医師に言われたため	23	7.9	7.9
家族に言われたため	34	11.7	11.7
会社(上司)に辞めてほしいと言われたため	17	5.8	5.9
その他	26	8.9	9.0
わからない	0	0.0	0.0
該当するものはない	0	0.0	0.0
無回答	1	0.3	—
全 体	657	—	—

問3-9 肝炎感染後、以下のような経験をしたことがありますか(または経験していますか)

		N数	経験なし	経験あり	無回答	全体	合計	加重平均
件数	仕事が続けられなくなった	—	467	325	88	880	325	0.4
	毎朝起床が辛い	—	312	477	91	880	477	0.6
	体調管理のために用事をキャンセルする	—	347	434	99	880	434	0.6
	家族の協力が得られない	—	570	204	106	880	204	0.3
	周囲に苦痛を訴えられない	—	398	380	102	880	380	0.5
	体調不良に気付いてもらえない	—	323	464	93	880	464	0.6
	無理をすると翌日寝込む	—	354	434	92	880	434	0.6
	怠けていると思われる	—	377	411	92	880	411	0.5
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	—	400	381	99	880	381	0.5
	家では横たわりがらである	—	236	567	77	880	567	0.7
	仕事(家事を含む)を一度にできない	—	290	499	91	880	499	0.6
	無理して元気なふりをする	—	316	475	89	880	475	0.6
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	—	589	185	106	880	185	0.2
	近所でいやなうわさが立った	—	694	79	107	880	79	0.1
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	—	304	484	92	880	484	0.6
	人との付き合いを避けている	—	609	166	105	880	166	0.2
	健康診断を受けないようにしている	—	646	132	102	880	132	0.2
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	—	642	131	107	880	131	0.2
	家族関係が悪くなった	—	659	117	104	880	117	0.2
	家族に身体的・精神的問題が発生した	—	590	190	100	880	190	0.2
周囲の人が親切にしてくれるようになった	—	541	232	107	880	232	0.3	
割合(%)	仕事が続けられなくなった	880	53.1	36.9	10.0	100.0		
	毎朝起床が辛い	880	35.5	54.2	10.3	100.0		
	体調管理のために用事をキャンセルする	880	39.4	49.3	11.3	100.0		
	家族の協力が得られない	880	64.8	23.2	12.0	100.0		
	周囲に苦痛を訴えられない	880	45.2	43.2	11.6	100.0		
	体調不良に気付いてもらえない	880	36.7	52.7	10.6	100.0		
	無理をすると翌日寝込む	880	40.2	49.3	10.5	100.0		
	怠けていると思われる	880	42.8	46.7	10.5	100.0		
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	880	45.5	43.3	11.3	100.0		
	家では横たわりがらである	880	26.8	64.4	8.8	100.0		
	仕事(家事を含む)を一度にできない	880	33.0	56.7	10.3	100.0		
	無理して元気なふりをする	880	35.9	54.0	10.1	100.0		
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	880	66.9	21.0	12.0	100.0		
	近所でいやなうわさが立った	880	78.9	9.0	12.2	100.0		
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	880	34.5	55.0	10.5	100.0		
	人との付き合いを避けている	880	69.2	18.9	11.9	100.0		
	健康診断を受けないようにしている	880	73.4	15.0	11.6	100.0		
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	880	73.0	14.9	12.2	100.0		
	家族関係が悪くなった	880	74.9	13.3	11.8	100.0		
	家族に身体的・精神的問題が発生した	880	67.0	21.6	11.4	100.0		
周囲の人が親切にしてくれるようになった	880	61.5	26.4	12.2	100.0			
割合(%) (除無回答)	仕事が続けられなくなった	792	59.0	41.0	—	100.0		
	毎朝起床が辛い	789	39.5	60.5	—	100.0		
	体調管理のために用事をキャンセルする	781	44.4	55.6	—	100.0		
	家族の協力が得られない	774	73.6	26.4	—	100.0		
	周囲に苦痛を訴えられない	778	51.2	48.8	—	100.0		
	体調不良に気付いてもらえない	787	41.0	59.0	—	100.0		
	無理をすると翌日寝込む	788	44.9	55.1	—	100.0		
	怠けていると思われる	788	47.8	52.2	—	100.0		
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	781	51.2	48.8	—	100.0		
	家では横たわりがらである	803	29.4	70.6	—	100.0		
	仕事(家事を含む)を一度にできない	789	36.8	63.2	—	100.0		
	無理して元気なふりをする	791	39.9	60.1	—	100.0		
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	774	76.1	23.9	—	100.0		
	近所でいやなうわさが立った	773	89.8	10.2	—	100.0		
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	788	38.6	61.4	—	100.0		
	人との付き合いを避けている	775	78.6	21.4	—	100.0		
	健康診断を受けないようにしている	778	83.0	17.0	—	100.0		
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	773	83.1	16.9	—	100.0		
	家族関係が悪くなった	776	84.9	15.1	—	100.0		
	家族に身体的・精神的問題が発生した	780	75.6	24.4	—	100.0		
周囲の人が親切にしてくれるようになった	773	70.0	30.0	—	100.0			

【問3-9で「経験あり」と回答した人のみ】

問3-9 経験したことの苦痛度

	N数	苦痛でない	多少苦痛だ	非常に苦痛だ	どちらでもない	無回答	全体	合計	加重平均	
件数	仕事が続けられなくなった	—	3	94	209	7	12	325	512	1.7
	毎朝起床がづらい	—	14	261	190	7	5	477	641	1.4
	体調管理のために用事をキャンセルする	—	14	254	153	8	5	434	560	1.3
	家族の協力が得られない	—	6	113	74	10	1	204	261	1.4
	周囲に苦痛を訴えられない	—	13	204	146	15	2	380	496	1.4
	体調不良に気付いてもらえない	—	17	227	202	17	1	464	631	1.4
	無理をすると翌日寝込む	—	9	190	221	9	5	434	632	1.5
	怠けていると思われる	—	6	172	215	13	5	411	602	1.5
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	—	12	199	153	11	6	381	505	1.4
	家では横たわりがちである	—	36	295	193	32	11	567	681	1.3
	仕事(家事を含む)を一度にできない	—	21	266	196	9	7	499	658	1.4
	無理して元気なふりをする	—	21	279	155	13	7	475	589	1.3
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	—	13	70	78	20	4	185	226	1.4
	近所でいやなうわさが立った	—	3	30	38	4	4	79	106	1.5
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	—	48	250	135	44	7	484	520	1.2
	人との付き合いを避けている	—	9	100	44	11	2	166	188	1.2
	健康診断を受けないようにしている	—	16	53	46	15	2	132	145	1.3
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	—	3	39	81	7	1	131	201	1.6
	家族関係が悪くなった	—	2	28	76	9	2	117	180	1.7
	家族に身体的・精神的問題が発生した	—	3	62	115	7	3	190	292	1.6
周囲の人が親切にしてくれるようになった	—	100	62	12	47	11	232	86	0.5	
割合(%)	仕事が続けられなくなった	325	0.9	28.9	64.3	2.2	3.7	100.0		
	毎朝起床がづらい	477	2.9	54.7	39.8	1.5	1.0	100.0		
	体調管理のために用事をキャンセルする	434	3.2	58.5	35.3	1.8	1.2	100.0		
	家族の協力が得られない	204	2.9	55.4	36.3	4.9	0.5	100.0		
	周囲に苦痛を訴えられない	380	3.4	53.7	38.4	3.9	0.5	100.0		
	体調不良に気付いてもらえない	464	3.7	48.9	43.5	3.7	0.2	100.0		
	無理をすると翌日寝込む	434	2.1	43.8	50.9	2.1	1.2	100.0		
	怠けていると思われる	411	1.5	41.8	52.3	3.2	1.2	100.0		
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	381	3.1	52.2	40.2	2.9	1.6	100.0		
	家では横たわりがちである	567	6.3	52.0	34.0	5.6	1.9	100.0		
	仕事(家事を含む)を一度にできない	499	4.2	53.3	39.3	1.8	1.4	100.0		
	無理して元気なふりをする	475	4.4	58.7	32.6	2.7	1.5	100.0		
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	185	7.0	37.8	42.2	10.8	2.2	100.0		
	近所でいやなうわさが立った	79	3.8	38.0	48.1	5.1	5.1	100.0		
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	484	9.9	51.7	27.9	9.1	1.4	100.0		
	人との付き合いを避けている	166	5.4	60.2	26.5	6.6	1.2	100.0		
	健康診断を受けないようにしている	132	12.1	40.2	34.8	11.4	1.5	100.0		
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	131	2.3	29.8	61.8	5.3	0.8	100.0		
	家族関係が悪くなった	117	1.7	23.9	65.0	7.7	1.7	100.0		
	家族に身体的・精神的問題が発生した	190	1.6	32.6	60.5	3.7	1.6	100.0		
周囲の人が親切にしてくれるようになった	232	43.1	26.7	5.2	20.3	4.7	100.0			
割合(%) (除無回答)	仕事が続けられなくなった	313	1.0	30.0	66.8	2.2	—	100.0		
	毎朝起床がづらい	472	3.0	55.3	40.3	1.5	—	100.0		
	体調管理のために用事をキャンセルする	429	3.3	59.2	35.7	1.9	—	100.0		
	家族の協力が得られない	203	3.0	55.7	36.5	4.9	—	100.0		
	周囲に苦痛を訴えられない	378	3.4	54.0	38.6	4.0	—	100.0		
	体調不良に気付いてもらえない	463	3.7	49.0	43.6	3.7	—	100.0		
	無理をすると翌日寝込む	429	2.1	44.3	51.5	2.1	—	100.0		
	怠けていると思われる	406	1.5	42.4	53.0	3.2	—	100.0		
	公共交通機関利用時、座らずにはいられない	375	3.2	53.1	40.8	2.9	—	100.0		
	家では横たわりがちである	556	6.5	53.1	34.7	5.8	—	100.0		
	仕事(家事を含む)を一度にできない	492	4.3	54.1	39.8	1.8	—	100.0		
	無理して元気なふりをする	468	4.5	59.6	33.1	2.8	—	100.0		
	家計や子供の学費を優先するため治療を諦めた(遅らせた)	181	7.2	38.7	43.1	11.0	—	100.0		
	近所でいやなうわさが立った	75	4.0	40.0	50.7	5.3	—	100.0		
	人と話す時は病気のことでふれないようにしている	477	10.1	52.4	28.3	9.2	—	100.0		
	人との付き合いを避けている	164	5.5	61.0	26.8	6.7	—	100.0		
	健康診断を受けないようにしている	130	12.3	40.8	35.4	11.5	—	100.0		
	病名を告げることで周囲の人に避けられた	130	2.3	30.0	62.3	5.4	—	100.0		
	家族関係が悪くなった	115	1.7	24.3	66.1	7.8	—	100.0		
	家族に身体的・精神的問題が発生した	187	1.6	33.2	61.5	3.7	—	100.0		
周囲の人が親切にしてくれるようになった	221	45.2	28.1	5.4	21.3	—	100.0			

問3-10-1 肝炎に感染していることを知った当時のお気持ちについて教えてください

		N 数	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	どちらともいえない	無回答	全体
件数	死んでしまいたいと思う	—	74	102	549	86	69	880
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	—	106	164	456	87	67	880
	苦痛をわかってもらえず辛い	—	233	295	220	62	70	880
	もとの体を返してほしい	—	576	117	67	65	55	880
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	—	413	189	119	95	64	880
	この病気とうまく付き合っていないと思う	—	403	236	106	87	48	880
	家族の協力が得られないことが辛い	—	63	116	552	78	71	880
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	—	314	237	204	69	56	880
	健康な人がうらやましいと思う	—	562	144	75	45	54	880
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	—	229	266	248	70	67	880
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	—	431	233	83	74	59	880
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	—	330	280	134	79	57	880
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	—	132	214	326	140	68	880
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	—	357	223	153	87	60	880
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	—	80	101	579	49	71	880
	それほど深刻な病気であるとは思わない	—	60	81	587	81	71	880
	告知されたことを受け入れられない	—	103	78	510	119	70	880
	これからどう生きていこうかと不安になる	—	243	249	244	82	62	880
特に気になることはない	—	15	1	619	162	83	880	
割合 (%)	死んでしまいたいと思う	880	8.4	11.6	62.4	9.8	7.8	100.0
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	880	12.0	18.6	51.8	9.9	7.6	100.0
	苦痛をわかってもらえず辛い	880	26.5	33.5	25.0	7.0	8.0	100.0
	もとの体を返してほしい	880	65.5	13.3	7.6	7.4	6.3	100.0
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	880	46.9	21.5	13.5	10.8	7.3	100.0
	この病気とうまく付き合っていないと思う	880	45.8	26.8	12.0	9.9	5.5	100.0
	家族の協力が得られないことが辛い	880	7.2	13.2	62.7	8.9	8.1	100.0
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	880	35.7	26.9	23.2	7.8	6.4	100.0
	健康な人がうらやましいと思う	880	63.9	16.4	8.5	5.1	6.1	100.0
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	880	26.0	30.2	28.2	8.0	7.6	100.0
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	880	49.0	26.5	9.4	8.4	6.7	100.0
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	880	37.5	31.8	15.2	9.0	6.5	100.0
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	880	15.0	24.3	37.0	15.9	7.7	100.0
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	880	40.6	25.3	17.4	9.9	6.8	100.0
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	880	9.1	11.5	65.8	5.6	8.1	100.0
	それほど深刻な病気であるとは思わない	880	6.8	9.2	66.7	9.2	8.1	100.0
	告知されたことを受け入れられない	880	11.7	8.9	58.0	13.5	8.0	100.0
	これからどう生きていこうかと不安になる	880	27.6	28.3	27.7	9.3	7.0	100.0
特に気になることはない	880	1.7	0.1	70.3	18.4	9.4	100.0	
割合 (%) (除無回答)	死んでしまいたいと思う	811	9.1	12.6	67.7	10.6	—	100.0
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	813	13.0	20.2	56.1	10.7	—	100.0
	苦痛をわかってもらえず辛い	810	28.8	36.4	27.2	7.7	—	100.0
	もとの体を返してほしい	825	69.8	14.2	8.1	7.9	—	100.0
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	816	50.6	23.2	14.6	11.6	—	100.0
	この病気とうまく付き合っていないと思う	832	48.4	28.4	12.7	10.5	—	100.0
	家族の協力が得られないことが辛い	809	7.8	14.3	68.2	9.6	—	100.0
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	824	38.1	28.8	24.8	8.4	—	100.0
	健康な人がうらやましいと思う	826	68.0	17.4	9.1	5.4	—	100.0
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	813	28.2	32.7	30.5	8.6	—	100.0
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	821	52.5	28.4	10.1	9.0	—	100.0
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	823	40.1	34.0	16.3	9.6	—	100.0
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	812	16.3	26.4	40.1	17.2	—	100.0
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	820	43.5	27.2	18.7	10.6	—	100.0
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	809	9.9	12.5	71.6	6.1	—	100.0
	それほど深刻な病気であるとは思わない	809	7.4	10.0	72.6	10.0	—	100.0
	告知されたことを受け入れられない	810	12.7	9.6	63.0	14.7	—	100.0
	これからどう生きていこうかと不安になる	818	29.7	30.4	29.8	10.0	—	100.0
特に気になることはない	797	1.9	0.1	77.7	20.3	—	100.0	

問3-10-2 最近数週間のお気持ちについて教えてください

		N数	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	どちらともいえない	無回答	全体
件数	死んでしまいたいと思う	—	32	44	685	52	67	880
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	—	47	98	617	51	67	880
	苦痛をわかってもらえずつらい	—	81	212	439	75	73	880
	もとの体を返してほしい	—	470	135	151	60	64	880
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	—	377	186	170	80	67	880
	この病気とうまく付き合っていないと思う	—	460	226	89	48	57	880
	家族の協力が得られないことがつらい	—	29	102	607	66	76	880
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	—	235	221	297	68	59	880
	健康な人がうらやましいと思う	—	504	136	134	47	59	880
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	—	177	221	348	65	69	880
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	—	519	182	72	48	59	880
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	—	247	282	204	82	65	880
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	—	94	180	398	135	73	880
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	—	285	198	227	100	70	880
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	—	31	40	684	47	78	880
	それほど深刻な病気であるとは思わない	—	34	50	644	78	74	880
	告知されたことを受け入れられない	—	50	53	608	95	74	880
	これからどう生きていこうかと不安になる	—	170	215	339	85	71	880
特に気になることはない	—	24	10	590	160	96	880	
割合 (%)	死んでしまいたいと思う	880	3.6	5.0	77.8	5.9	7.6	100.0
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	880	5.3	11.1	70.1	5.8	7.6	100.0
	苦痛をわかってもらえずつらい	880	9.2	24.1	49.9	8.5	8.3	100.0
	もとの体を返してほしい	880	53.4	15.3	17.2	6.8	7.3	100.0
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	880	42.8	21.1	19.3	9.1	7.6	100.0
	この病気とうまく付き合っていないと思う	880	52.3	25.7	10.1	5.5	6.5	100.0
	家族の協力が得られないことがつらい	880	3.3	11.6	69.0	7.5	8.6	100.0
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	880	26.7	25.1	33.8	7.7	6.7	100.0
	健康な人がうらやましいと思う	880	57.3	15.5	15.2	5.3	6.7	100.0
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	880	20.1	25.1	39.5	7.4	7.8	100.0
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	880	59.0	20.7	8.2	5.5	6.7	100.0
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	880	28.1	32.0	23.2	9.3	7.4	100.0
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	880	10.7	20.5	45.2	15.3	8.3	100.0
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	880	32.4	22.5	25.8	11.4	8.0	100.0
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	880	3.5	4.5	77.7	5.3	8.9	100.0
	それほど深刻な病気であるとは思わない	880	3.9	5.7	73.2	8.9	8.4	100.0
	告知されたことを受け入れられない	880	5.7	6.0	69.1	10.8	8.4	100.0
	これからどう生きていこうかと不安になる	880	19.3	24.4	38.5	9.7	8.1	100.0
特に気になることはない	880	2.7	1.1	67.0	18.2	10.9	100.0	
割合 (%) (除無回答)	死んでしまいたいと思う	813	3.9	5.4	84.3	6.4	—	100.0
	何もかも全て投げ出してしまいたいと思う	813	5.8	12.1	75.9	6.3	—	100.0
	苦痛をわかってもらえずつらい	807	10.0	26.3	54.4	9.3	—	100.0
	もとの体を返してほしい	816	57.6	16.5	18.5	7.4	—	100.0
	肝炎により自分の人生を狂わされたことが悔しい	813	46.4	22.9	20.9	9.8	—	100.0
	この病気とうまく付き合っていないと思う	823	55.9	27.5	10.8	5.8	—	100.0
	家族の協力が得られないことがつらい	804	3.6	12.7	75.5	8.2	—	100.0
	家族にいろいろと我慢してもらっていることを申し訳なく思う	821	28.6	26.9	36.2	8.3	—	100.0
	健康な人がうらやましいと思う	821	61.4	16.6	16.3	5.7	—	100.0
	無理して元気なふりをしなければならないことが疲れる	811	21.8	27.3	42.9	8.0	—	100.0
	くよくよしても仕方がないので明るく前向きに生きようと思う	821	63.2	22.2	8.8	5.8	—	100.0
	いつも検査数値を気にしながら暮らすことがいやになる	815	30.3	34.6	25.0	10.1	—	100.0
	周囲の人が肝炎のことを無知であるため生きづらい	807	11.6	22.3	49.3	16.7	—	100.0
	病気が進行して死ぬのがおそろしい	810	35.2	24.4	28.0	12.3	—	100.0
	肝炎がどのような病気か知らずピンとこない	802	3.9	5.0	85.3	5.9	—	100.0
	それほど深刻な病気であるとは思わない	806	4.2	6.2	79.9	9.7	—	100.0
	告知されたことを受け入れられない	806	6.2	6.6	75.4	11.8	—	100.0
	これからどう生きていこうかと不安になる	809	21.0	26.6	41.9	10.5	—	100.0
特に気になることはない	784	3.1	1.3	75.3	20.4	—	100.0	

4. 現在の心身の健康について

問4 最近数週間の心身の健康状態について教えてください

		N数	そう 思う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	全 体
件数	何かするときはいつもより集中して出来た	—	98	273	239	206	64	880
	心配事があって、よく眠れないようなことがあった	—	199	238	149	245	49	880
	いつもより自分のしていることに生きがいを感じる ことが出来た	—	75	262	256	226	61	880
	いつもより容易に物事を決めることが出来た	—	79	262	265	212	62	880
	いつもよりストレスを感じたことがあった	—	229	231	189	176	55	880
	問題を解決できなくて困ったことがあった	—	136	182	236	264	62	880
	いつもより日常生活を楽しく送ることが出来た	—	99	316	237	170	58	880
	いつもより問題があった時、積極的に解決しようと することが出来た	—	96	289	261	171	63	880
	いつもより気が重くて憂鬱になることがあった	—	174	224	202	232	48	880
	自信を失ったことがあった	—	171	218	187	248	56	880
	自分は役に立たない人間だと考えたことがあった	—	102	145	238	338	57	880
	いつもよりしあわせだと感じたことがあった	—	129	327	194	175	55	880
割合 (%)	何かするときはいつもより集中して出来た	880	11.1	31.0	27.2	23.4	7.3	100.0
	心配事があって、よく眠れないようなことがあった	880	22.6	27.0	16.9	27.8	5.6	100.0
	いつもより自分のしていることに生きがいを感じる ことが出来た	880	8.5	29.8	29.1	25.7	6.9	100.0
	いつもより容易に物事を決めることが出来た	880	9.0	29.8	30.1	24.1	7.0	100.0
	いつもよりストレスを感じたことがあった	880	26.0	26.3	21.5	20.0	6.3	100.0
	問題を解決できなくて困ったことがあった	880	15.5	20.7	26.8	30.0	7.0	100.0
	いつもより日常生活を楽しく送ることが出来た	880	11.3	35.9	26.9	19.3	6.6	100.0
	いつもより問題があった時、積極的に解決しようと することが出来た	880	10.9	32.8	29.7	19.4	7.2	100.0
	いつもより気が重くて憂鬱になることがあった	880	19.8	25.5	23.0	26.4	5.5	100.0
	自信を失ったことがあった	880	19.4	24.8	21.3	28.2	6.4	100.0
	自分は役に立たない人間だと考えたことがあった	880	11.6	16.5	27.0	38.4	6.5	100.0
	いつもよりしあわせだと感じたことがあった	880	14.7	37.2	22.0	19.9	6.3	100.0
割合 (%) (除無回答)	何かするときはいつもより集中して出来た	816	12.0	33.5	29.3	25.2	—	100.0
	心配事があって、よく眠れないようなことがあった	831	23.9	28.6	17.9	29.5	—	100.0
	いつもより自分のしていることに生きがいを感じる ことが出来た	819	9.2	32.0	31.3	27.6	—	100.0
	いつもより容易に物事を決めることが出来た	818	9.7	32.0	32.4	25.9	—	100.0
	いつもよりストレスを感じたことがあった	825	27.8	28.0	22.9	21.3	—	100.0
	問題を解決できなくて困ったことがあった	818	16.6	22.2	28.9	32.3	—	100.0
	いつもより日常生活を楽しく送ることが出来た	822	12.0	38.4	28.8	20.7	—	100.0
	いつもより問題があった時、積極的に解決しようと することが出来た	817	11.8	35.4	31.9	20.9	—	100.0
	いつもより気が重くて憂鬱になることがあった	832	20.9	26.9	24.3	27.9	—	100.0
	自信を失ったことがあった	824	20.8	26.5	22.7	30.1	—	100.0
	自分は役に立たない人間だと考えたことがあった	823	12.4	17.6	28.9	41.1	—	100.0
	いつもよりしあわせだと感じたことがあった	825	15.6	39.6	23.5	21.2	—	100.0

5. 患者様がご自身の健康についてどのようにお考えかをうかがいます

問5-1 健康状態を教えてください

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=871
最高に良い	4	0.5	0.5
とても良い	63	7.2	7.2
良い	400	45.5	45.9
あまり良くない	334	38.0	38.3
良くない	70	8.0	8.0
無回答	9	1.0	—
全体	880	100.0	100.0

問5-2 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=873
はるかに良い	40	4.5	4.6
やや良い	99	11.3	11.3
ほぼ同じ	494	56.1	56.6
良くない	185	21.0	21.2
はるかに悪い	55	6.3	6.3
無回答	7	0.8	—
全体	880	100.0	100.0

問5-3 健康上の理由で、日常よく行われている活動をするのが難しいと感じますか

		N 数	とても 難しい	少し 難しい	難しく ない	無回答	全体
件数	激しい活動をする	—	404	301	144	31	880
	適度な活動をする	—	74	233	542	31	880
	少し重い物を持ち上げたり、運んだりする	—	88	261	499	32	880
	階段を数階上までのぼる	—	132	283	433	32	880
	階段を1階上までのぼる	—	43	154	640	43	880
	体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	—	48	171	624	37	880
	1キロメートル以上歩く	—	106	235	499	40	880
	数百メートルくらい歩く	—	47	122	672	39	880
	百メートルくらい歩く	—	26	64	746	44	880
	自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	—	16	28	808	28	880
割合 (%)	激しい活動をする	880	45.9	34.2	16.4	3.5	100.0
	適度な活動をする	880	8.4	26.5	61.6	3.5	100.0
	少し重い物を持ち上げたり、運んだりする	880	10.0	29.7	56.7	3.6	100.0
	階段を数階上までのぼる	880	15.0	32.2	49.2	3.6	100.0
	階段を1階上までのぼる	880	4.9	17.5	72.7	4.9	100.0
	体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	880	5.5	19.4	70.9	4.2	100.0
	1キロメートル以上歩く	880	12.0	26.7	56.7	4.5	100.0
	数百メートルくらい歩く	880	5.3	13.9	76.4	4.4	100.0
	百メートルくらい歩く	880	3.0	7.3	84.8	5.0	100.0
	自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	880	1.8	3.2	91.8	3.2	100.0
割合 (%) (除無回答)	激しい活動をする	849	47.6	35.5	17.0	—	100.0
	適度な活動をする	849	8.7	27.4	63.8	—	100.0
	少し重い物を持ち上げたり、運んだりする	848	10.4	30.8	58.8	—	100.0
	階段を数階上までのぼる	848	15.6	33.4	51.1	—	100.0
	階段を1階上までのぼる	837	5.1	18.4	76.5	—	100.0
	体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	843	5.7	20.3	74.0	—	100.0
	1キロメートル以上歩く	840	12.6	28.0	59.4	—	100.0
	数百メートルくらい歩く	841	5.6	14.5	79.9	—	100.0
	百メートルくらい歩く	836	3.1	7.7	89.2	—	100.0
	自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	852	1.9	3.3	94.8	—	100.0

問5-4 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、身体的な理由で次のような問題が生じたことはありましたか

		N数	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	全くない	無回答	全体
件数	仕事やふだんの活動をする時間を減らした	—	63	70	217	136	359	35	880
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	—	67	67	210	173	327	36	880
	仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった	—	65	40	212	195	333	35	880
	仕事やふだんの活動することがむずかしかった	—	62	36	184	204	358	36	880
割合(%)	仕事やふだんの活動をする時間を減らした	880	7.2	8.0	24.7	15.5	40.8	4.0	100.0
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	880	7.6	7.6	23.9	19.7	37.2	4.1	100.0
	仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった	880	7.4	4.5	24.1	22.2	37.8	4.0	100.0
	仕事やふだんの活動することがむずかしかった	880	7.0	4.1	20.9	23.2	40.7	4.1	100.0
割合(%) (除無回答)	仕事やふだんの活動をする時間を減らした	845	7.5	8.3	25.7	16.1	42.5	—	100.0
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	844	7.9	7.9	24.9	20.5	38.7	—	100.0
	仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった	845	7.7	4.7	25.1	23.1	39.4	—	100.0
	仕事やふだんの活動することがむずかしかった	844	7.3	4.3	21.8	24.2	42.4	—	100.0

問5-5 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、心理的な理由で、次のような問題が生じたことはありましたか

		N数	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	全くない	無回答	全体
件数	仕事やふだんの活動をする時間をへらした	—	55	59	203	175	357	31	880
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	—	56	64	192	196	339	33	880
	仕事やふだんの活動が、いつもほど、集中してできなかった	—	57	59	198	209	319	38	880
割合(%)	仕事やふだんの活動をする時間をへらした	880	6.3	6.7	23.1	19.9	40.6	3.5	100.0
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	880	6.4	7.3	21.8	22.3	38.5	3.8	100.0
	仕事やふだんの活動が、いつもほど、集中してできなかった	880	6.5	6.7	22.5	23.8	36.3	4.3	100.0
割合(%) (除無回答)	仕事やふだんの活動をする時間をへらした	849	6.5	6.9	23.9	20.6	42.0	—	100.0
	仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	847	6.6	7.6	22.7	23.1	40.0	—	100.0
	仕事やふだんの活動が、いつもほど、集中してできなかった	842	6.8	7.0	23.5	24.8	37.9	—	100.0

問5-6 過去1ヵ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どの程度妨げられましたか

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=846
全く妨げられなかった	394	44.8	46.5
わずかに妨げられた	172	19.5	20.3
少し妨げられた	187	21.3	22.1
かなり妨げられた	70	8.0	8.3
非常に妨げられた	25	2.8	2.9
無回答	32	3.6	—
全 体	880	100.0	100.0

問5-7 過去1ヵ月間からだの痛みをどの程度感じましたか

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=850
全く痛みはなかった	358	40.7	42.1
わずかな痛み	140	15.9	16.5
軽い痛み	154	17.5	18.1
通常痛み	132	15.0	15.5
強い痛み	51	5.8	6.0
非常に激しい痛み	15	1.7	1.8
無回答	30	3.4	—
全 体	880	100.0	100.0

問5-8 過去1ヵ月間に、いつもの仕事(家事も含む)が痛みのために、どの程度妨げられましたか

	件数	割合 (%) N=880	割合 (%) (除無回答)N=819
全く妨げられなかった	396	45.0	48.4
わずかに妨げられた	167	19.0	20.4
少し妨げられた	176	20.0	21.5
かなり妨げられた	62	7.0	7.6
非常に妨げられた	18	2.0	2.2
無回答	61	6.9	—
全 体	880	100.0	100.0

問5-9 過去1ヵ月間の状態について、以下の項目についてあてはまるものをお知らせください

		N数	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	全くない	無回答	全体
件数	元気いっぱいでしたか	—	82	259	276	132	91	40	880
	かなり神経質でしたか	—	60	94	237	256	195	38	880
	どうにもならないくらい、気分が落ち込んでいましたか	—	31	44	203	244	317	41	880
	落ち着いて、おだやかな気分でしたか	—	75	284	291	123	68	39	880
	活力(エネルギー)にあふれていましたか	—	54	178	236	191	170	51	880
	落ち込んで、憂鬱な気分でしたか	—	34	50	239	257	259	41	880
	疲れ果てていましたか	—	40	100	259	272	169	40	880
	楽しい気分でしたか	—	50	219	331	156	82	42	880
	疲れを感じましたか	—	106	152	329	193	72	28	880
割合(%)	元気いっぱいでしたか	880	9.3	29.4	31.4	15.0	10.3	4.5	100.0
	かなり神経質でしたか	880	6.8	10.7	26.9	29.1	22.2	4.3	100.0
	どうにもならないくらい、気分が落ち込んでいましたか	880	3.5	5.0	23.1	27.7	36.0	4.7	100.0
	落ち着いて、おだやかな気分でしたか	880	8.5	32.3	33.1	14.0	7.7	4.4	100.0
	活力(エネルギー)にあふれていましたか	880	6.1	20.2	26.8	21.7	19.3	5.8	100.0
	落ち込んで、憂鬱な気分でしたか	880	3.9	5.7	27.2	29.2	29.4	4.7	100.0
	疲れ果てていましたか	880	4.5	11.4	29.4	30.9	19.2	4.5	100.0
	楽しい気分でしたか	880	5.7	24.9	37.6	17.7	9.3	4.8	100.0
	疲れを感じましたか	880	12.0	17.3	37.4	21.9	8.2	3.2	100.0
割合(%) (除無回答)	元気いっぱいでしたか	840	9.8	30.8	32.9	15.7	10.8	—	100.0
	かなり神経質でしたか	842	7.1	11.2	28.1	30.4	23.2	—	100.0
	どうにもならないくらい、気分が落ち込んでいましたか	839	3.7	5.2	24.2	29.1	37.8	—	100.0
	落ち着いて、おだやかな気分でしたか	841	8.9	33.8	34.6	14.6	8.1	—	100.0
	活力(エネルギー)にあふれていましたか	829	6.5	21.5	28.5	23.0	20.5	—	100.0
	落ち込んで、憂鬱な気分でしたか	839	4.1	6.0	28.5	30.6	30.9	—	100.0
	疲れ果てていましたか	840	4.8	11.9	30.8	32.4	20.1	—	100.0
	楽しい気分でしたか	838	6.0	26.1	39.5	18.6	9.8	—	100.0
	疲れを感じましたか	852	12.4	17.8	38.6	22.7	8.5	—	100.0

問5-10 過去1ヵ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、時間的にどの程度妨げられましたか

	件数	割合(%) N=880	割合(%) (除無回答)N=849
いつも	27	3.1	3.2
ほとんどいつも	60	6.8	7.1
ときどき	194	22.0	22.9
まれに	195	22.2	23.0
全くない	373	42.4	43.9
無回答	31	3.5	—
全体	880	100.0	100.0

問5-11 次にあげた各項目はどの程度あてはまりますか

		N数	その とおり	ほぼあ てはまる	どちらと も言えな い	ほとんど あてはま らない	全くあて はまらない	無回答	全体
件数	私は他の人に比べて病 気になりやすいと思う	—	128	134	365	139	82	32	880
	私は、人並に健康である	—	56	161	334	143	144	42	880
	私の健康は、悪くなるよ うな気がする	—	127	182	392	93	49	37	880
	私の健康状態は非常に 良い	—	31	134	366	151	154	44	880
割合(%)	私は他の人に比べて病 気になりやすいと思う	880	14.5	15.2	41.5	15.8	9.3	3.6	100.0
	私は、人並に健康である	880	6.4	18.3	38.0	16.3	16.4	4.8	100.0
	私の健康は、悪くなるよ うな気がする	880	14.4	20.7	44.5	10.6	5.6	4.2	100.0
	私の健康状態は非常に 良い	880	3.5	15.2	41.6	17.2	17.5	5.0	100.0
割合(%) (除無回答)	私は他の人に比べて病 気になりやすいと思う	848	15.1	15.8	43.0	16.4	9.7	—	100.0
	私は、人並に健康である	838	6.7	19.2	39.9	17.1	17.2	—	100.0
	私の健康は、悪くなるよ うな気がする	843	15.1	21.6	46.5	11.0	5.8	—	100.0
	私の健康状態は非常に 良い	836	3.7	16.0	43.8	18.1	18.4	—	100.0

6. 現在の健康、今後の生活に対する気持ちや要望についてうかがいます

問6-1 肝炎患者の今後の医療や生活を保障する恒久対策等として、どのようなことを望んでいますか
(複数回答)

	件数	割合(%) N=880	割合(%) (除無回答)N=867
医療費の自己負担をなくしてほしい	517	58.8	59.6
医療費の自己負担を軽減してほしい	451	51.3	52.0
肝炎の専門病院を増やし、医療体制を確立してほしい	566	64.3	65.3
治療で勤務や仕事を中断した時の治療休暇制度を作してほしい	370	42.0	42.7
健康保険料の減免をしてほしい	418	47.5	48.2
現行の介護認定基準を見直して、介護保険給付を受けやすくして ほしい	305	34.7	35.2
介護保険料の減免をしてほしい	259	29.4	29.9
障害者手帳を交付してほしい	342	38.9	39.4
障害年金を給付してほしい	342	38.9	39.4
肝炎患者の医療や生活に関する相談窓口を作してほしい	364	41.4	42.0
肝炎患者への偏見・差別をなくしてほしい	408	46.4	47.1
薬害を根絶し、今後絶対に薬害が起きない社会にしてほしい	739	84.0	85.2
その他	29	3.3	3.3
特になし	4	0.5	0.5
わからない	4	0.5	0.5
無回答	13	1.5	—
全体	5,131	—	—

② SF-36 の下位尺度得点

		N 数	0点	20点 未満	20～ 40点 未満	40～ 60点 未満	60～ 80点 未満	80～ 100点 未満	100点	全体	平均 (点)
件数	身体機能	—	8	21	26	97	171	392	129	844	77.4
	日常役割機能 (身体)	—	46	65	16	174	161	108	275	845	70.2
	体の痛み	—	7	18	58	185	186	66	334	854	72.5
	全体的健康感	—	8	92	206	351	149	32	1	839	44.3
	活力	—	18	88	158	260	200	91	28	843	52.0
	社会生活機能	—	14	26	80	112	212	91	325	860	74.5
	日常役割機能 (精神)	—	43	63	9	193	166	85	286	845	70.6
	心の健康	—	0	6	78	335	369	53	0	841	56.9
割合 (%)	身体機能	844	0.9	2.5	3.1	11.5	20.3	46.4	15.3	100.0	
	日常役割機能 (身体)	845	5.4	7.7	1.9	20.6	19.1	12.8	32.5	100.0	
	体の痛み	854	0.8	2.1	6.8	21.7	21.8	7.7	39.1	100.0	
	全体的健康感	839	1.0	11.0	24.6	41.8	17.8	3.8	0.1	100.0	
	活力	843	2.1	10.4	18.7	30.8	23.7	10.8	3.3	100.0	
	社会生活機能	860	1.6	3.0	9.3	13.0	24.7	10.6	37.8	100.0	
	日常役割機能 (精神)	845	5.1	7.5	1.1	22.8	19.6	10.1	33.8	100.0	
	心の健康	841	0.0	0.7	9.3	39.8	43.9	6.3	0.0	100.0	

iv) 自由記述

① ご意見、ご感想

「ご意見、ご感想」欄の回答内容分類表

分類 No.	回答内容	回答数	%
1	治療,医療内容,病状	39	11.1%
2	医療費,交通費,福祉の充実,生活保障を	16	4.6%
3	薬の効果と副作用	59	16.9%
4	医師・医療従事者への思い,意見	7	2.0%
5	家族への思い,家計,就労	14	4.0%
6	同じ被害者の人たちへの思い	22	6.3%
7	原告団・弁護団への感謝,意見	61	17.4%
8	この調査・調査票への御意見	22	6.3%
9	過去の辛かったこと,被害を受けたこと	37	10.6%
10	将来への不安・展望,生き方	42	12.0%
11	国・会社・医師などへの意見	30	8.6%
12	その他	1	0.3%
		350	100%

No.	ご意見、ご感想	回答内容分類
1	肝炎ウイルス検査を、普通の定期健診に組み込むべきである。国はあらゆる手段を使い、国民にウイルス感染者の治療放棄が、将来に及ぼす悪影響を知らせるべきである。患者が周囲からの偏見、差別に心を痛めている事実を、医療従事者が知らないようだ。これからの医学生には、病気だけではなく、患者の思い、苦しみを学ぶ努力をしてほしい。	1. 治療, 医療内容, 病状
2	子宮筋腫の手術で、C型肝炎になるとは夢にも思わなかった。それも60才を過ぎてから、市の検査で、「大きな手術、輸血等していたら、ウイルスの検査をして下さい」と言われ、受けて初めて分かった。今から30年も前に受けた手術なのに。今思えば、手術3日後夜、大出血をし開腹手術をされ、輸血を10本もされ、10日以上も40度の熱にうなされ、当時は大変でした（私、家族には何の話もなく開腹された）。これが急性肝炎になったのかなと思う。医者も、肝炎にかかったとは一言も言わなかった。それが、今年の1月に新聞で、フィブリノゲンを使った病院の一覧を見て、手術をした病院名が出ていたのでびっくりした次第です。手術を下された先生が院長になっていて、弁護士に当時の事をいろいろ細かく説明して下さい、今回は助かりました。当時は術後1年は何もできず、病院通い。母が元気だったので、すべて母にお願いして、生活していました。今思い出すと、本当に辛かったです。	1. 治療, 医療内容, 病状
3	始まりは心臓手術で、25年後に再度手術（弁置き換え）し、身障手帳組なので、医療費は1割負担で済むが、キャリアなので、検査受診はしっかり行っている。不安感は心の中にある。今のところ、肝炎の影響（行動制限は、むしろ心臓にあると言える）は分からない。	1. 治療, 医療内容, 病状
4	私は肝硬変と診断され、残り少ない年月を、精一杯前向きに生活しております。採血をして、CT、エコーと短期的に検査をしています。症状は何もありませんが、爆弾を抱えての生活は、気の休まることはありません。ただ、これまでなんとか生きてこられたことは、家族や周囲の皆様のお陰だと、感謝しています。	1. 治療, 医療内容, 病状
5	私は、C型肝炎という点では、お陰様で症状が軽いと思う。体質的に、血液が成分的に貧困な部分があり、それが肝炎の進行を遅らせているという説明を受けた。	1. 治療, 医療内容, 病状
6	最近、坐骨神経痛になったため、体の調子がよくありません。それと、いろいろ悩む事があったので、C型肝炎とは別です。今は治療から3年も経ち、元気な状態でした。	1. 治療, 医療内容, 病状
7	03年にC型肝炎が分かり、この年から高価な漢方薬を服用しています。GOT、GPT、アルブミン、総ビリルビンは低いのです。高価な漢方薬が飲めるのも、今は亡き両親のお陰です。両親に感謝しています。今も、3ヶ月に1回の血液検査と、6ヶ月に1回のCT、エコーを撮っています。以前は、CTもエコーも3ヶ月に1回でしたので、これだけでもホッとしています。	1. 治療, 医療内容, 病状

No.	ご意見、ご感想	回答内容分類
8	2009年7月に県立中央病院で、脾臓をつめる手術をしました。その時、術後、ひどい吐き気がして出血が止まらなくなり、医師が主人に、「命が危ない」と言いましたが、手当てと大量の血清とか輸血で、何とか命は助けてもらいました。ですが、退院してもしばらくは、家事も何もできず、本当に手術前の元気な体になるのかとても心配でした。2ヶ月程入院して、9月の初めに退院して約3ヶ月程経ちましたが、今は少し元気ができて、家事などもできるようになりました。でも、週3回、近くの病院で、強ミノファージェンを打っています。薬も長年飲んでます。今後の事を考えると、不安でいっぱいです。	1. 治療, 医療内容, 病状
9	注射するのに血管がでなくて嫌になるけれど、しないとガンになるので、仕方なしに病院に行っています。	1. 治療, 医療内容, 病状
10	子供の頃から健康で、病気したことがありません。初めて筋腫で入院し肝炎。いまだに病気と二人三脚。手術でフィブリノゲンを投与され入院生活7ヶ月。肝機能検査のため、22年間の採血の結果、今では血管が固くなり、採血時に痛い思いをしています。フィブリノゲンという名前が、今でも頭から離れません。医師からインターフェロンの治療を勧められています。年齢的にもこれが限度です。フィブリノゲンの怖さからインターフェロン治療の副作用を聞き、恐ろしさ、怖さから足踏み状態です。7月29日に肝臓ガンの手術を受け、快方に向かっております。健康に戻り、皆様と共に活動させていただきます。	1. 治療, 医療内容, 病状
11	毎日毎日いろんな検査の数値を気にしながら過ごすことは、大変なストレスと不安なことです。何をしても疲れやすい。	1. 治療, 医療内容, 病状
12	私は産後腎不全になり、透析をして、姉からの提供により腎移植を受けています。C型肝炎と診断されても、腎機能がずっと悪いので、インターフェロンもリバビリンも使用できません。肝ガンになるのは恐ろしいですが、現段階では治療ができないので、不本意です。腎臓にも負担のかからない治療が確立することを、切に希望します。	1. 治療, 医療内容, 病状
13	今肝硬変まで進行し、できる治療がなくなってきた、医者からは移植を勧められています。移植はあまりに犠牲にするものが多く、毎日悩み苦しんでいるところです。肝硬変に進行しても、可能な治療があつてほしいと思います。本当にこの1年間で、自分でも信じられないくらい進行していました。ずっと頑張つて治療してきたのにとすると悲しいし、怖いんです。毎日が不安です。できる限り笑える事を見つけようとしているのですが・・・。	1. 治療, 医療内容, 病状
14	20数年前、左肺下葉切除の手術が済んでの退院後、1週間も過ぎない日に病院からの電話で、「再入院せよ」の通知がありました。理由は肝臓の検査数値が悪いということです。この年の12月まで入院治療が続きました。退院後も通院で、ラクトフェリン(森永製菓製)等の試薬を1年間服用しましたが、ウィルスの現象がないまま今日に至っております。C型肝炎という病名を明確に知ったのは、病院からの通知によるもので、つい最近の事です。血液検査の数値は良いのですが、ウィルスの数は依然変わらないそうです。年齢的に、薬剤による治療は、体力が持たないとのこと。	1. 治療, 医療内容, 病状
15	一生病気と付き合っている人達が、どんな気持ちで生活を送っているか?毎日の薬が大変というのは乗り越えました。健康がどれほど大切かも、当たり前じゃなく考えて。	1. 治療, 医療内容, 病状
16	7月に父を亡くしました。亡くなった時に、大きな声で「お父さ〜ん」と言いました。その一声でたった一粒できていた食道静脈瘤が破裂してしまい、通夜、葬儀等にも出られず、入院してしまいました。父を亡くした同じ病院でオペをしました。そのあとPSEというカテーテルを使って、脾臓を小さくするオペもしました。今年4月から4回入院し、4回のオペをしました。体力がなくなり、肝臓病の怖さを知りました。本当に怖い病気です。	1. 治療, 医療内容, 病状
17	私は幸いにも症状もなく、めずらしい例で治りましたが、不安な毎日を過ごされている肝炎の方々に、1日も早く和解と良い薬ができることを祈ります。	1. 治療, 医療内容, 病状
18	出産後から、肝炎とはしっかり付き合ってきました。ただ、薬害肝炎に対しては全く無知でした。皆さまの活動を知り、新たに自身の体と向き合い、治療していくきっかけになりました。有り難いことに、私の場合は症状が軽いので、幸いしています。インターフェロンの副作用も軽くすんでいます。多くの方がもっと気軽に肝炎に向き合い、治療していける社会になればいいと思います。	1. 治療, 医療内容, 病状
19	薬害肝炎が判明した時点で、84才で高齢。軽度の認知症もあり、治療中でした。税金で和解金を受取り、治療をと思つても、身体、心理的に積極的な治療を行うことができない心苦しさがあつた。病気を他者に知られることも大変ですが、大金を手に入れたことも、心の負担があつた。高齢になってからの発症では、治療する大変さの方が大きいと思います。肝硬変や肝がんに進行する前にとつています。	1. 治療, 医療内容, 病状

No.	ご意見、ご感想	回答内容分類
20	今は、比較的GOTもGPTも共に落ち着いている。血小板数も28万7,000とたくさんあるが、正常値近くにあっても、少しずつ肝炎進行が進むのではないかと心配している。特に、心臓手術をやったので、医師からは、インターフェロンは危険を伴うのでやらないと言われている。	1. 治療, 医療内容, 病状
21	肝炎という病気を発症するまで、全く知りませんでした。それまで入院したこともなかったのですから。日本の国民病院だと知り、本人が知らずに生活している人が、いかに多いかびっくりです。人のためにと、平気で献血に行くのは大変危険です。10cc輸血してもかかってしまうのですから・・・。是非、自分の血液検査を希望します。	1. 治療, 医療内容, 病状
22	慢性肝炎、肝硬変から癌になるのを、早く医学研究が進み、癌にならないように待っています。	1. 治療, 医療内容, 病状
23	肝炎のことが問題になったことで、あきらめていた自分の病気に対して、少し前向きに、何とかならないかと向き合うようになりました。ウイルスは消失させたいです（インターフェロンは、もう使える状態ではないですが）。	1. 治療, 医療内容, 病状
24	病状について、肝炎としては協力できませんでしたが、主治医からは一生ものだと言われております。	1. 治療, 医療内容, 病状
25	私の場合、肝炎に関しては無症なので、現在の体調は年齢的なものかもしれませんが、気持ちの浮き沈みがあります。肝炎の進行に対する不安もあります。他の科にかかる時、いちいち報告する苛立ちなど感じます。でも、薬害の証明ができない方々がたくさんいるので、早く証明して、治療の心配を少しでも減らしていただきたいと思います。	1. 治療, 医療内容, 病状
26	肝炎になっていなければ、私はどんな人生を送っていたのだらうと、この頃よく考える。出産後の肝炎発症当時は、太ってしまってお産が大変だったのだと、自分を責めることしかできなかった。自分が悪かったのだと。ただ、たった1本の輸血で病気になった自分の運の悪さを恨んだりもした。その後は生活に精一杯で、通院も遠のいてしまった。一時薬害問題が報道されると、「もしかして私もそうなんじゃないか」と思うと同時に、「私は違う」と否定する日々の中で、やっぱり認めたくないという気持ちに負けて、確認することをしなかった自分を、今では後悔しています。あの時、きちんと真実と向き合っていたら、病気の進行は防げたかもしれないと、もっと自分に勇気があったなら・・・と。それに、もっと自分の病気のことを真剣に受け止めていたら、きちんと通院を怠らずに続けていたら、ここまで進行しなかったのではないかと。これも後悔です。あの頃は病状もなく、無理もできたことに安心しきっていたのだと思います。本当にこの病気の怖さはこれなのです。症状がなければ認識も薄れます。これは私の実感です。もっともこの病気の怖さをみんなに知ってもらうこと。PRは重要になると思います。 もうひとつの後悔は、医療機関の選択です。地元の市民病院の医師を今でも許せません。肝臓専門医ではありませんが、何人もインターフェロン治療をしている医師でした。私の場合、太っている事を理由に、なかなかインターフェロン治療を始めてもらえませんでした。太っていると、効果が薄いというのが理由でした。それと、数値が少し高い程度で安定していたことも、理由のひとつでした。数値が上がって、ウイルスが暴れ出したら始めるのが普通と言われました。その後、薬害と分かり、調査依頼に何度か手を煩わせることがあった時、「ぼくが投与した理由でもないのに、その当時のことなんか分からない」と言われ、ショックでした。看護師は、予約の電話を入れるたび、「またですか～」という返事。今でも忘れられない言葉です。半年毎の血液検査と超音波検査のみで、触診を受けることもなく、時間だけが過ぎ、私が生検を受けたいと申し出ると、とても不機嫌になり、「今はそんな検査を受ける人はいない」とか「インターフェロン治療で入院することはない」と言われ、また不信感が増すばかり。	1. 治療, 医療内容, 病状

No.	ご意見、ご感想	回答内容分類
27	<p>やっとの思いで紹介状を書いてもらい、大学病院へ行くと、「太っているからインターフェロンは受けられないが、生検は必要ないということはないですよ」と言われ、自分の思いを伝えられる医師に会えてホッとしました。生検の結果はショックなものでした。肝硬変。しばらく受け入れることはできませんでした。結果を持って市民病院へ行くと、ビックリする言葉を聞くことに・・・。「生検なんか受けるから・・・。受けなければそのままインターフェロン治療を受けられたのにね」ですって・・・。何とも許せない言葉です。今では肝臓外来の医師として治療しているようですが・・・。先月お送っていただいた資料の中に、●●県fの現状の中で、この医師が名前入りで名医と紹介されていて、ショックでした。たまたま私とは相性が悪かったのだと思うようにしないと、やりきれないですね。これからの私達にとって、どんな医師と出会うかということで、人生が変わってしまうことも考えられます。そして、これからは、自分で医師を選ぶことも大事だと痛感しています。医療機関の充実を望みます。</p> <p>今、片道1時間かけて治療通院しています。そのたび主人が仕事を休み、付き添ってくれています。家族の負担を思うと、申し訳なく思うばかりです。もう少し近くで充実した医療機関があったらと思います。私の主治医は、8:50からの診察時間を、いつも8:30から患者を診てくれています。それくらいしないと、患者が多くて間に合わないそうです。「この病気に完治はないから、ずっと継続する病気。患者が減ることはないよ」とおっしゃった言葉が印象的でした。一生つきあっていかなければならない病気。少しでもガンや今の症状の進行を防ぐことを優先していくことでしか、私の健康は保てないのです。医学は進歩していることを支えに、今できることを、していこうと思っています。過去のことを悔やんだり、後悔しても仕方がない。助けられた生命と感謝し、前向きに生きていくことに、努力していこうと思っています。いつも同じ気持ちでいることは難しいですが、こんな私の生き方が、同じ病気で苦しむ人に、少しでも役に立つことができたらと思う毎日です。この治験を受けることも、そんな気持ちもあって後押しされています。1日でも早く良い結果がでて、肝硬変の人達も治療ができることを、願っています。そして、みんなが安心して治療ができる、不安なく生活できることを願ってやみません。最後に、肝炎は数値や超音波検査だけで安心しないでと、声を大にして伝えたいです。怖い恐ろしい病気だということを、伝えたいです。</p>	1. 治療, 医療内容, 病状
28	肝硬変もかなり進み、CT検査ではガンの芽だらけとのこと。11月も肝ガンではないかとの疑いで、検査でした。もう肝ガンがすぐ目の前なんだなあと感じています。ガンになったら、体力にも自信がなく、家族にも迷惑がかかるし、経済的負担を考えると、何もせず終末医療か自殺を考えた方がいいかなと感じる毎日です。なぜ健康だった私が、そして私の家族が、どうしてこんな人生を送らなければならなかったのでしょうか。私の健全な体と時間を返してほしい。	1. 治療, 医療内容, 病状
29	治療できる人が1人でも多くなるよう、身体に負担の少ない治療方法の研究、開発ができればいいなあと思います。又、治療費の負担も軽減できるようになればいいと思います。	1. 治療, 医療内容, 病状
30	この国に生まれて良かったと思って死にたいです。このまま死ぬのは悔しいです。もう一度仕事ができるようになりたいので、医療体制を確立して下さい。以前よりは劣った体力でもいいからお願いします。	1. 治療, 医療内容, 病状
31	アンケートを通して、肝炎の事を見直すことができました。持病があるので、どちらの症状か分からなかったりするのですが、少しでも病状の進行を遅らせる努力をしていこうと思えました。私の持病の方に重大な副作用が出るので、インターフェロン等の治療は行えませんが、家族の協力を得ながら、生活していこうと思っています。	1. 治療, 医療内容, 病状
32	このたび給付金をいただけるようになり、大変お世話になり、本当にありがとうございました。いただいたもので、改めて治療致します。現在、ウィルスが右肩上がりになっていますので、担当の先生と相談していきます。	1. 治療, 医療内容, 病状
33	治療を終えて14年経ちました。でもまだ毎年1回検査をしています。この検査は一生続くと言われていています。毎年検査に行くたびに、つらかった日々を思い出し、イヤな気持ちになります。	1. 治療, 医療内容, 病状
34	内科の医師は慢性肝炎だと言われるのですが、キャリアとしか認めてもらっていません。昨年の11月GOT40、GPT37、今年3月GOT57GPT91、5月GOT91GPT128、6月GOT20GPT18と、また正常になりました。今後また上がるのではないかと不安です。慢性肝炎と認めてもらえないでしょうか。	1. 治療, 医療内容, 病状
35	半年に一度検査に行っていますが、ウルソ1日3回飲んでます。今のところは落ち着いています。今後ともよろしくお願い致します。	1. 治療, 医療内容, 病状